

MOT コレクション 竹林之七妍 小さな光

開館 30 周年記念プレ企画 イケムラレイコ マーク・マンダース

東京都現代美術館（江東区三好4） 24. 12. 14～25. 03. 30

「東京都現代美術館」は、日本の戦後美術を中心に広く内外の現代美術を体系的に研究・収集・保存・展示するための機関として95年3月に開館し、戦後美術を中心に、近代から現代に至る「約5800点」の作品を収蔵している。

「MOT コレクション」展では、会期ごとに様々な切り口を設けて収蔵作品を展示し、現代美術の持つ多様な魅力の発信に努めている。

今回の展示の1階は、「竹林之七妍」と題し、俗世を離れて竹林に集い清談を交わす古代中国の賢者が7人の女性に変えて描かれている。

時代や文化といった背景の異なる女性たちが、花や鳥に囲まれた明るい光の中で和やかに集うさまにならい、紹介の少なかった女性作家を的にしている。

新収蔵作品を中心に7人の女性作家の生誕100年を迎えた間所（芥川）沙織、高木敏子に加え、漆原英子、小林ドンゲ、前本影子は新収蔵作品を交えて展示をし、「朝倉摂」と「福島秀子」は既収蔵作品が展示されている。

「イケムラレイコ」、「マーク・マンダース」《椅子の上の乾いた像》



マーク・マンダース